



<b>大口町</b>	所属議員	山崎 卓美
------------	------	-------

<b>【活動選定項目】 国・県・市町で取り組むテーマを設定</b>	<p>① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車)</p> <p>② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現</p> <p>③ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上</p>	<p>④ 地域への貢献活動 (例：部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成)</p> <p>⑤ 子育て支援策</p> <p>⑥ 行政の DX 推進施策</p> <p>⑦ 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応など)</p>
<b>具体的活動 (調査・研究含む)</b>	<p>・大口町コミュニティバス運営の改善</p> <p>【課題意識】(1)昼間の利用者少ないこと、(2)運用コスト増加していること、結果、年間ロスコストが過大となっている状況が数年継続している。</p>	
<b>選択した項目 テーマ ②</b>	<p>【やったこと】</p> <p>総務建設常任委員会の年間テーマとして活動を決定。</p> <p>10月2日に委員会行政視察として、(株)アイシンを訪問。オンデマンド交通システムについて調査。また、すでにシステム導入している幸田町を訪問し、導入時、および導入後の課題のヒアリングを実施した。</p>	
今後の活動	<p>・今回視察の結果を委員会にて研究を進める。(大口町で導入するにあたっての課題の整理、将来の交通ビジョンの策定)</p>	

<b>具体的活動 (調査・研究含む)</b>	<p>・働き、生活する拠点として選ばれる大口町について(奨学金返還支援制度)</p> <p>【課題意識】子育てにおいて、義務教育課程を終えた後の大学、専門学校などの高等教育からが本当に家庭の負担が大きくなる。学生時代に奨学金制度を利用したとする人は、おおよそ2人に1人が利用している状況。一方で地域の商産業においても、コロナ禍を経て、人材不足は喫緊の課題となっている。</p>	
<b>選択した項目 テーマ ⑤</b>	<p>【やったこと】</p> <p>9月定例会にて一般質問を実施。町内企業の人材確保支援策として、奨学金返還支援制度(企業の代理返還)を実施する企業に対する支援等、新たな支援制度導入について提案した。</p>	
今後の活動	<p>・大口町の奨学金返還支援制度は、年間1万円を3年間補助するにとどまる制度。愛知県内には一宮市、豊川市、豊橋市といった、先行して企業の代理返還制度導入の自治体がある。引き続き、国の高等教育支援を注視するとともに、調査を継続して行う。</p>	